

## 神戸学院大学全学教育推進機構「教育開発ジャーナル」執筆要領

「教育開発ジャーナル」の執筆要領は、次の通りとする。

### 1. 原稿について

- (1) A4版縦位置とし、横書きとする。
- (2) 「論文」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、14 頁以内（本文、図表、注、参考文献等を含む。タイトル・要約ページは含まない。）。
- (3) 「実践研究」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、14 頁以内（本文、図表、注、参考文献等を含む。タイトル・要約ページは含まない。）。
- (4) 「実践報告」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、10 頁以内。
- (5) 「活動報告」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、7 頁以内。
- (6) 「教育改革助成金事業報告」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、7 頁以内。「活動報告」のページに掲載する。
- (7) 「その他」のうち、「資料紹介」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、5 頁以内。「書評」は、「教育開発ジャーナル」誌面（標準頁は、44 文字×38 行）において、2 頁以内とする。その他の原稿の分量は、編集委員会の指示に従う。
- (8) 「論文」・「実践研究」は、
  - 第1ページをタイトルページとし、表題（和文・英文の両方）・著者名・所属機関を記載する。  
英文の表題は、以下の基準に従う。
    - ・すべての単語の1文字目は大文字とする。
    - ・以下の単語は文頭でなければ上記の例外とする。  
接続詞（例 and,or,but）  
前置詞（例 on,of,by）  
冠詞（the,a,an）
  - ・ただし、4文字以上の等位接続詞と前置詞は1文字目を大文字とする。
  - 第2ページには、
    - ・300字程度の要約（和文、可能であれば英文も）と
    - ・5つ以内のキーワード（和文、可能であれば英文も）を記載する。
  - 第3ページから、本文を記載する。  
その以外の「実践報告」「活動報告」「教育改革助成金事業報告」「その他」に関してはタイトルページと要約は不要。
- (9) 本文の使用言語は、原則として日本語とする（固有名詞や例文等の軽微な使用は日本語に限らない）。
- (10) 本文は、Microsoft Word で読み取り可能な文書ファイルとし、原則として常用漢字・現代仮名遣いを用いる、句読点は「、」「。」を用いる。
- (11) 図表がある場合は、原稿中の該当する箇所に挿入し、図表の番号およびキャプションを付記し、上下を本文から切り離して1行ずつあけるものとする。

(12) 注は、文中の該当箇所に<sup>1,2,……</sup>のように表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。

(13) 引用した文章の直後には、(早木 2000)または(Hayaki 2000)のように、著者、出版年(同一年に複数の論文がある場合は、a、b、c、の区分をつけて)を記載する。

翻訳本、編著の場合は、原著者の氏名、原典の出版年と翻訳本、編著の出版年を記載する。

(14) 本文中で参照・引用した文献は、「注」のセクションの後ろに、「参考文献」というセクションを設けて、以下の例のように作成する。それらの記載順序は和文・外国語文を含めて、著者の姓(ラストネーム)のアルファベット順とする。

#### ● 図書の場合の記載方法

和書 著者名 (出版年)、『書名』、版、出版地、出版社、引用頁

洋書 著者ラストネーム, ファーストネームイニシャル.(出版年).書名(斜体).出版地, 出版社, 引用頁.

例:

[1] Atkins, C. E., Watson, D. & Cotton, E. (2011). *How to Write Academic Papers*. Kobe, KGU publishing, 120 - 125.

[2] 神院太郎(2020)、『感染症マニュアル』、改訂3版、東京、〇〇堂、123頁

#### ● 雑誌の場合の記載方法

和雑誌 著者名 (刊行年)、「表題」、『雑誌名』、巻数/号数、開始-最終頁

洋雑誌 著者ラストネーム, ファーストネームイニシャル. (刊行年). 表題. 雑誌名, 巻数/号数, 開始-最終頁.

例:

[1] 有瀬和子、港一郎(2010)、「ウイズコロナにおけるICTを用いた授業改善」、『教育開発ジャーナル』、78/2、41 - 50

[2] Davis, G., Blake, B. A., & Fuller, B. (2020). Effect of drug A on cytokine signal pathway. *Nature*, 225/5, 125-127.

※翻訳本の場合は、原著者名、(出版年)、『書名』.翻訳者名(訳または共訳)、版、出版地、出版社、引用頁、を記載すること。

※編著の場合は、著者名の後に(編)を記載すること。

## 2. 投稿手続き

(1) 以下の2点を投稿期限までに、メール添付にて神戸学院大学全学教育推進機構室に提出する。

① 投稿申請書

② 原稿電子媒体

(2) 投稿された原稿等(図版、写真、CD等を含む)は採否に係わらず原則として返却しない。

(3) 査読付き論文および実践研究については、査読者による修正等の意見がある場合は編集委員会より責任著者に通知する。責任著者は、査読者からの意見の個々について適切な回答と修正を行い、その回

答書ならびに修正原稿を編集委員会に提出しなければならない。

- (4) 実践報告以下については、編集委員会で校閲を行い、必要に応じて著者に修正を求める。
- (5) 採択の可否については、編集委員会より責任著者に通知する。
- (6) 採択された論文および実践研究については、責任著者に抜き刷り 30 部を贈呈する。追加を必要とする場合、追加分については著者の負担とする。本誌を含めてモノクロ印刷を基本とする。

### 3. 校正等

著者は初校校正のみ行うことが出来るが、内容の変更を伴う修正は認めない。

ただし、編集委員会より以下のような指摘があれば、修正を認める可能性がある。

#### ● 修正を行う可能性がある例

- ・審査中に研究協力を行った第三者より申し出があり、変更しなければその第三者に不都合や不利益が生じる可能性がある場合
- ・編集委員会が指摘する重大な「表記ゆれ」

なお編集委員会では、原則として誤植も含み文章や図表の校正は行わないため、著者は完成原稿として提出すること。

問い合わせ・提出先

全学教育推進機構室(有瀬キャンパス 4 号館 2 階)

zen@j.kobegakuin.ac.jp